

山田みやこの活動報告

令和2年4月27日(月)・28日(火)

第364回 県議会 臨時会議報告

① 補正予算内訳

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さらなる医療提供体制の整備・県民生活や地域経済への影響を最小化すべく、中小企業の資金繰りのへ支援等補正予算を編成した。

補正予算の総額 2,489億7,129万円

既計上予算と合わせ総額 8,698億4,600万円

財源は国庫支出金、諸収入、繰入金等を充てる。

主な事業

- ・新型コロナウイルス感染症対策予備費 5億円
- ・マスク、消毒液 2億円
- ・介護施設感染拡大防止対策費 2億1,600万円
- ・医療体制整備事業 25億8,000万円
- ・地域外来、検査センター設備費(PCR検査) 3億
- ・中小企業支援の「新型コロナ感染症対策パワーアップ資金」貸付 151億円
- ・休業要請の応じた協力金 30億円
- ・県立学校タブレット整備4,300台 5億3,400万円

② 補正予算に対する予算特別委員会質疑

民主市民クラブを代表して中屋 大議員

1. 新型コロナウイルスの検査体制の充実について

県内感染者数が少ないのは検査体制が少ないからではないのか。検査を希望する人が検査できるような体制の充実を図るべきではないか。

2. テレビ放送を活用した家庭学習の支援について

学校の長期休業のより学力低下が懸念される。6,000万の予算でゴールデンウィーク中、テレビによる学習を放送する。さらなる長期化を見据えた対応が必要と考えるが、今回の取り組みをどの様に活かしていくのか。

3. 県の休業要請に応じた事業者に対して支払われる「コロナウイルス感染拡大防止協力金」を賃借や所有に関わらず、等しく支給すべきを考えるがどうか。

